

明治八年  
大改  
錦出  
新聞  
第廿二号

縵頭喰の偶像類に  
用ひよきて招き猫其処  
に居るも問われども是も時運の變轉とや  
云ん其原由を尋ねるに西京ある或學校の教師生徒に  
向て曰く父と母と何れも尊き其返答て是と与ふべ  
て縵頭一ツを渡すも彼童子孰か縵頭一ツに分ち  
左右の手に持教師に呈て此縵頭どちか甘き教給へ  
と教師其即智に感せしより人形流行せしと云  
新聞社中の寓言かれと勸懲の一助ともあれ茲に再と

偶像のやふに思ふに親ハ  
まんぢうやどにやうく

九化戲速

石和板

小眞信五

